

ICHI Reference Guide

International Classification of Health Interventions (翻訳 2025 年)

令和 6 年度

厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業(統計情報総合研究))

International Classification of Health Interventions (ICHI) の
国内普及の更なる促進に資する研究(24AB1001)

研究代表者	川瀬弘一	聖マリアンナ医科大学・理事
分担研究者	田中裕次郎	埼玉医科大学・小児外科・教授
	岩中 督	東京大学・医学部附属病院・名誉教授
	波多野賢二	国立精神・神経医療研究センター・データマネジメント室・室長
	高橋長裕	ちば県民保健予防財団・総合健診センター・顧問
	瀬尾善宣	中村記念病院・副院長
	阿部幸喜	千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター・特任講師
	小川俊夫	摂南大学・農学部食品栄養学科・教授
	荒井康夫	北里大学・未来工学部データサイエンス学科・講師

目次

目次	i
略語	1
序章	1
ICHI ユースケース	3
ICHI の範囲と構造	5
ユーザー向けガイドライン	7
1. はじめに	7
2. ICHI ステムコードの選択	7
3. ICHI で使用される規約	10
4. ICHI のターゲット選択	11
5. どのアクションを選択するか	16
6. どのミーンズを選択するか	17
7. 残りのカテゴリ – 「その他」および「詳細不明」	18
8. コーディングしてはいけないこととコードの割り当て順	19
9. エクステンションコード(必要時使用)	19
10. その他のコードリストの使用	25
11. 同時に行われる介入	25
12. 介入のパッケージ	27
13. ICHI と ICD および/または ICF との同時使用	28
14. 付録 A:ICHI 開発の歴史	29

(訳者注:現時点で、和訳には以下を用います)

intervention	介入
stem cord	ステムコード(基幹コード)
extension code	エクステンションコード(拡張コード)
Target	ターゲット(対象)
Action	アクション(操作)
Means	ミーンズ(手段)
Medical and surgical interventions	医学的・外科的介入
anatomical structures	解剖学的構造

略語

CDC	Central Product Classification
FDC	Family Development Committee
HDP	Hospital Data Project
ICD	International Classification of Diseases 疾病及び関連保健問題の国際統計分類
ICF	International Classification of Functioning, Disability and Health 国際生活機能分類
ICHI	International Classification for Health Interventions 保健・医療関連行為に関する国際分類
ICPM	International Classification of Procedures in Medicine 国際プライマリケア分類
ISIS	International Standard Industrial Classification
OECD	Organisation for Economic Co-operation and Development 経済協力開発機構
SDG	Sustainable Development Goal
UHC	Universal Health Coverage ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ
WHO	World Health Organization 世界保健機関
WHO-FIC	World Health Organization - Family of International Classifications

序章

世界保健機関(WHO)の健康分類ファミリー (WHO-FIC) には、疾患、機能と障害、および健康介入をカバーする3つの参照分類が含まれています。

- 疾病及び関連保健問題の国際統計分類(ICD)
- 国際生活機能分類(ICF)
- 保健・医療関連行為に関する国際分類(ICHI)

ファミリーについては、<https://www.who.int/publications/m/item/who-fic-family-paper> に説明されています。

国際プライマリケア分類(ICPM)は、1978年にWHOによって提供されました。これには診断や医学的・外科的介入が含まれていました。その後、疾病分類のためのWHO協力センター長は「ファイナライズと公開の前にフォローしなければならなかった協議のプロセスにおいて、このように広く急速に進歩している分野では不適切であることを認識した」と。したがって、ICPMの改訂は行われなかったことが決定されました。

欧州連合によって設立されたホスピタル データ プロジェクト(HDP)は、2000年代初頭を通じて、病院における診断と介入を加盟国を横断的に特定するために機能しました。それは、報告と比較のために介入のセンチネルリストを選択する際の複雑な要因として、ヨーロッパ諸国全体で使用されている多数の介入分類に注目しました。36の病院での介入が最終的に国際報告のために決定され、その後OECD諸国で使用されました。

ICHI ユースケース

1. 国際比較

経済協力開発機構(OECD)とユーロスタット(欧州連合統計局)は現在、ホスピタル データ プロジェクト(HDP)によって提案された限定された範囲の病院における介入のデータを加盟国から収集。そのレポートには、さまざまな分類システムの影響が頻繁に指摘されています。ユーロスタットの報告は、HDP によって提案された 36 の介入に関する報告です。

これらの国際的な報告プロセスは、各国ごとの介入の国際比較の必要性を示しています。例として、各国ごとの介入率、待機時間および特定の健康状態(クリニカルパス)の比較が含まれます。

包括的な健康介入の国際分類は、国際分類がデータ収集に直接使用されるか、国内分類を開発するためのベースとして使用されるか、また国際分類と国内分類のコードをマッピングできる共通構造として使用されるかはわかりませんが、比較のための基盤を提供します。これは、HDP リストを更新する手段を提供するだけでなく、他の定期的またはアドホック的な比較を行う手段を提供します。

2) ICHI の国内利用

a) 健康介入の分類がない国

多くの国、特に医療制度があまり発達していない国では、現在健康介入の分類がありません。これらの国々には、医療システムのさまざまなレベルで行われていることに関する情報を収集するための基本的なインフラが不足しており、その結果、医療システムの開発と健康の改善に不可欠な計画、品質および経営資産の配分に悪影響が及んでいます。

b) ICD-9-CM Volume 3 を使用している国

米国(U.S.)の健康介入分類 ICD-9-CM Volume 3 は、多くの国で使用されています。これは常にパブリックドメイン(著作権や知的財産権が発生していない状態または消滅)にあり、形式やコストなしで使用できます。2015 年 10 月 1 日から、ICD-9-CM Volume 3 は米国の医療システムで使用されなくなり、維持されていません。ICD-10-PCS に置き換えられました。これも公共財ですが、より詳細な分類です。

c) ICHI を使用して国内分類を再開発したい国

過去 20 年から 30 年にわたって、さまざまな国で健康介入の分類が開発され、実施されてきました。その目的は、多くの場合、病院におけるケースミックス資金調達のシステム開発を支援することでした。健康介入の分類を再開発しようとしている国や組織は、WHO のライセンスを条件として、ICHI をベースとして使用することができます。開発された資料は、必要に応じて ICHI で使用するために WHO が利用できるようにする必要があります。

d) 国際分類への ICHI の構成要素の追加

国際分類は、診断、医学的・外科的介入に焦点を当てています。ICHI には、各国の分類にはなかったり不完全にしか網羅されていなかったりする内容についても網羅されています。ICHI には、メンタルヘルス、プライマリケア、健康関連、機能支援、リハビリテーション、予防、公衆衛生に関連する介入も含まれます。各国は、ICHI からのこの追加コンテンツを国の分類に組み込むことができます。

3. 持続可能な開発目標

国連総会は、2015 年に持続可能な開発目標(SDGs)を採択しました⁶⁾。目標3の「すべての人に健康と福祉を」は、「すべての年齢層の健康的な生活を保証し、福祉を促進する」ことを目的としています。これには 13 の目標が含まれており、そのうちのいくつかは、非感染性疾患の予防と治療、メンタルヘルスとウェルビーイングの促進(目標 3.4)、性と生殖に関するヘルスケアサービスへの普遍的なアクセス(目標 3.7)などの健康介入に関連しています。質の高い不可欠なヘルスケアサービスへのアクセス(目標 3.8)、およびタバコ規制(目標 3.A)。さらに、栄養失調の終結など、健康への介入に関連する他の目標にあります(目標 2.2)。

これらの目標に対する進捗状況を監視し、特定の地域や国に適した特定のプログラムの開発、資金調達、および実施を支援するには、国や地域全体の介入を説明するために使用できる共通の分類を持つことが重要です。

4. ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)は、WHO の主要な優先事項です。それは「すべての人々が、必要な促進、予防、治療、リハビリテーションの健康サービスにアクセスできるようにし、効果を発揮するのに十分な品質を確保すると同時に、人々がこれらのサービスに支払う際に経済的困難に苦しむことがないようにすること」と定義されています。普遍的に利用可能であるべき介入の例には、出産前のケア、はしかの予防接種、高血圧治療が含まれます。ユニバーサル・ヘルス・カバレッジは SDGs の目標です。

介入を説明するための共通の構造と用語を提供する上で、ICHI は ICD-11 および ICF とともに、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)の実施を監視するための指標を指定するのに役立ちます。

5. 患者の安全と質

傷害の原因と傷害の形態の両方が、患者の安全と質の問題の研究の中心です。患者の安全と質の問題は、3つの WHO-FIC 中心分類すべてを使用して説明できます。ICHI は、介入自体について説明します。さらに、安全性と品質の問題に対処するために行われる行為は、多くの場合、ICHI でコーディング可能であり、改善の議論と報告がさらに容易になります。

また、ICHI は、コクラン共同計画が実施するような健康介入の有効性をレビューするための国際的な取り組みに共通の枠組みを提供することもできます。

6. 医療システムのパフォーマンス

ICHI は、国の医療制度によって行われていることを把握または記録するための分類を提供します。企画・管理・品質評価の情報基盤として利用できます。病院での介入だけでなく、プライマリケア、機能支援、公衆衛生など、さまざまな分野での介入もカバーしています。

ICHI と ICD-11 は、特にケースミックス融資システムの一部として、それぞれの国のシステムまたは開発中の WHO のケースミックスシステムのいずれかを使用して、医療サービスの値段の基盤を提供します。

7. ICHI における公衆衛生のユースケース

ICHI は、公衆衛生プログラムの設計と評価のためのツールとして使用できます。特定の時期の特定のコミュニティの状況と公衆衛生のニーズに合わせて調整された、公衆衛生プログラムに含めることができる介入のメニューを提供します。公衆衛生プログラムの有効性の評価は、プログラムに含まれる特定の介入の役割を考慮することによって支援できます。

ICHI を使用した公衆衛生プログラムに関する報告は、公衆衛生のアウトプットの定量化を可能にし、それを公衆衛生の経費に関連付けることができます。

ICHI は、公衆衛生の専門家、政策立案者および研究者が、国内および各国の公衆衛生プログラムの構成について議論し、比較するための共通言語を提供します。ICHI は、国際標準として、公衆衛生のエビデンスの基盤を強化し、研究結果を実践に移すことを促進する上で重要な役割を果たしています。

ICHI の範囲と構造

統計分類としての ICHI は、他の2つの WHO-FIC 中心分類(国際生活機能分類(ICF)と疾病及び関連保健問題の国際統計分類(ICD))によって、まとめて表される健康の幅広い概念に沿って、医療システムのすべての構成要素にわたる介入を網羅しています。ICHI には、内科、外科、精神保健、プライマリケア、保健に関連すること、機能支援、リハビリテーション、予防が含まれ、地域保健と公衆衛生で使用するためのさまざまな介入が含まれます。

健康介入は次のように定義されます：

健康介入とは、健康、身体機能または健康状態を評価、改善、維持、促進または修正することを目的とする人または集団のために、またはそのために、またはそれらのために実行される行為です。

ICHI は、ステムコードと呼ばれる包括的な一連の介入で構成されています。ICHI のステムコードは、次の3つの軸で記述されます。

- **ターゲット** - アクションが実行されるエンティティ
- **アクション** - アクションを行う人がターゲットに対して行った行為
- **ミーンズ** - アクションが実行されるプロセスと方法

それぞれ軸は、説明的なカテゴリのコード化されたリストで構成されています。それぞれのステムコードは、タイトルと、その介入の軸カテゴリを示した 7 桁コードで表現されます。最初の 3 桁はターゲット、次の 2 桁はアクション、その次の 2 桁はミーンズです。それぞれのステムコードには、3 つの軸のカテゴリの組み合わせです。3 つの軸を組み合わせたすべての組み合わせが ICHI コードとして表されるのではありません。ICHI のステムコードのタイトルの多くは「子宮摘出術」などの一般的に使用される用語です。

ステムコードには、介入に必要なすべての要素が含まれています（手術アプローチとしての開腹術、手術後の腹部切開の縫合など）。構成される要素を個別にコーディングする必要はありません。

ICHI には、介入の行った者や介入が行われた場所に関する情報は含まれません。介入が行われた理由とその結果は、ICD と ICF を使用して分類する必要がありますが、ICHI には含まれていません。

介入に関する追加情報は、必要に応じて**エクステンションコード**を使用することで追加できます。これには、治療用製品および支援製品、医薬品、診断のための検査、遠隔医療のコードや、この他に数、左右の違い、解剖学のより詳細な部位などの情報が含まれます。該当する場合、ICHI で使用されるエクステンションコードは ICD-11 のものと同じです。（セクション 9 エクステンションコードを参照してください）。

ICF コードは、機能しているターゲットの詳細な説明を提供するエクステンションコードとして使用できます。他の分類（LOINC、国際標準産業分類（ISIC）、国連中央生産分類（CPC）など）からのコードも、特に公衆衛生介入のためのエクステンションコードとして使用される場合があります。

リハビリテーション、メンタルヘルス、公衆衛生などの分野では、いくつかの特定の ICHI 介入を含むパッケージまたは治療プログラムが提供されています。ICHI には、パッケージまたはプログラムの一部として提供される介入をリンクまたはクラスター化する機能が含まれています。

ICHI には 8,000 以上の介入が含まれています。介入の数、およびその結果としての分類全体の詳細レベル（粒度）は、ICHI の使用事例と長期にわたる分類の安定性の必要に応じて決定されています。

ICHI の介入は、ターゲットに基づいて、次の 4 つのセクションにグループ化されます。

- 身体の一部と身体機能の介入（第 1 章－第 12 章）
- 活動や参加の介入（第 13 章－第 21 章）
- 環境の介入（第 22 章－第 27 章）
- 健康関連の介入（第 28 章）

ユーザー向けガイドライン

1. はじめに

これらのガイドラインは、ユーザーがアプリケーションに最適な ICHI コードを選択できるように設計されています。これにより、一貫してコード化されたデータ作成がサポートされます。ICHI は、WHO-FIC ICHI プラットフォームを通じてオンラインでアクセスできます。

<https://icd.who.int/dev11/l-ichi/en#/>

ICHI への介入はプロバイダー中立です。誰が介入を行うか、どこで介入を行うかに関係なく、特定の介入には同じコードを用います。

ICHI を適用する際、ユーザーはまずどのステムコードまたは分類のカテゴリが最も適しているかを決定しなければなりません。ステムコードとは ICHI のコードで、介入を説明するために単独で使用するコードです。ステムコードは、ケースごとに意味のある情報が収集されている 1 つのコードのみが確保され使用するように設計されています。

各 ICHI ステムコードは、次の 3 つの軸で記述されます。

- **ターゲット** - アクションが実行されるエンティティ
- **アクション** - アクションを行う人がターゲットに対して行った行為
- **ミーンズ** - アクションが実行されるプロセスと方法

たとえば、胆嚢摘出術は KCF.JK.AA としてコード化されます。

- ターゲットの KCF は「胆嚢」、
- アクションの JK は「全切除」であり、
- ミーンズの AA が「オープンアプローチ」であることを意味します。

2. ICHI ステムコードの選択

ステムコード各々には、それを説明するわかりやすい表題(タイトル)があります。ある例では、コードのタイトルが、軸カテゴリをそのまま反映しています(例: AAA.FA.AE「脳の経皮的切開」)。また、タイトルが一般的に使用される臨床用語である場合もあります(例: KCF.JK.AA「胆嚢摘出術」)。

タイトルが一般的に使用される臨床用語である場合、ICHI のステムコードには、その介入に必要なとされるすべての要素が含まれます。(例: KCF.JK.AA「胆嚢摘出術」には、手術する際のアプローチとしての開腹術や術後の腹部切開の縫合が含まれます)。それぞれの手技の要素を別々に選んではいけません。

ステムコードは、コードのタイトルの表現に関係なく、そのコードの軸カテゴリ(ターゲット、アクション、ミーンズの 3 つの軸)が介入に適用できる場合、特定の介入に割り当てることができます。介入に関連するインデックスとインクルージョンの用語は、特定のステムコードに導くのに役立ちます。ステムコードを選択する前に、そのコードのターゲット、アクション、ミーンズのカテゴリが、コーディングしている介入に適用可能であることも確認する必要があります。不明な点がある場合は、軸カテゴリの定義を参照してください。

以下の情報フィールドはユーザーが最も適切なステムコードを選択できるよう設計されています。

2.1 定義(訳者注:現在 ICHI online では「Description(説明)」になっている)

Definition(定義)(Description(説明))は、介入の内容を説明しています。

2.2 索引用語(訳者注:現在 ICHI online では「All Index Terms」になっている)

ステムコードの内容の追加ガイドとして、Index Terms(All Index Terms)(索引用語)がリストされています。それらは、その特定のステムコードに分類される用語例を示しています。

例 1:

JBB.LG.AD Index Terms(索引用語) (All Index Terms(すべての索引用語))	気管支の内視鏡的拡張 内視鏡的気管支拡張術 (訳者注:現在 ICHI online では「Endoscopic dilatation of bronchus」と「Endoscopic bronchial dilation」が記載されている)
--	---

アルファベット順の検索は、臨床用語(同義語を含む)のリストを提供します。インデックスは、関連する ICHI コードを見つけるのに役立ちます。(訳者注:Alphabetical Index(アルファベット順のインデックス)とあるが、アルファベット順ではないように思う) インデックス内の用語の説明は、コーディングに大いに役立ちます。

2.3 含まれるもの

Inclusions(含まれるもの)は、ステムコードの範囲をさらに定義または明確にするために使用され、介入の固有の部分である介入コンポーネントを参照するか、ステムコードに分類される介入ステートメントまたは同義語の例として参照できます。リストされている用語の多くは、カテゴリに属する重要または一般的な用語に関連しています。Inclusions(含まれるもの)に示された用語のリストは決して網羅的なものではありません。

介入エンティティの代替名(同義語)が含まれており、電子コーディングツールとアルファベット順に表示されます。なぜその用語が含まれているかを、ICHI の軸の構造に基づいて完全に理解するために、介入タイトルと併せて含まれている用語を理解する必要があります。

例 2:

NME.GA.AD Inclusions(含まれるもの)	子宮内膜アブレーション クライオプローブによる子宮内膜アブレーション 電気焼灼による子宮内膜アブレーション 高強度焦点超音波による子宮内膜アブレーション レーザーによる子宮内膜アブレーション マイクロ波による子宮内膜アブレーション 高周波による子宮内膜アブレーション ローラーボール温熱子宮バルーンによる子宮内膜アブレーション 子宮鏡下子宮内膜アブレーション
--	--

2.4 コーディング上の注意

- **Code also if performed:** 特定の関連する介入が実行されたときに、追加のコードが割り当てられることをユーザーに通知するものです。「code also」は、指定された 2 番目のコードと組み合わせて使用する必要があるカテゴリをマークします。

例 3:

JBA.LI.AE	経皮的気管切開術
Inclusions (含まれるもの)	経皮的気管切開術 (訳者注: 現在 ICHI online では削除されている) 永久的な経皮的気管切開術 一時的な経皮的気管切開術 (訳者注: dilatational とあり、気管を拡張する行為も含まれる)
Coding note (コーディング上の注意)	Code also, if performed, 気管支鏡検査 (JBB.AE.AD) を同時に行った場合は JBB.AE.AD のステムコードを併記する)

- **Omit code** (コードの省略): ある介入と同時に、またはその一部として行われた介入をコード化してはいけないものを示します。

例 4:

PAK.AE.AA	試験開腹術
Coding note (コーディング上の注意)	他の腹腔内手技を行った場合には Omit code になります (訳者注: この試験開腹術の手技をコード化してはいけません)

2.5 除外されるもの

特定のカテゴリには、「Exclusions (除外されるもの)」という言葉が前に付いたリストが含まれており、ICHI の他の場所に分類されている特定の介入が示されています。場合によっては、Exclusions (除外) によって、そのコードを使用してはならない介入の種類に関する、より一般的なガイダンスが提供されています。Exclusions (除外) は、ICHI の相互参照として機能し、その介入コードの境界を明確にするのに役立ちます。

例 5 と例 6:

JAN.JK.AA	喉頭全摘術
Inclusions (含まれるもの)	気管切開を伴った喉頭全摘術 甲状腺摘出術を伴った喉頭全摘術 喉頭のブロック切除 喉頭咽頭摘出術
Exclusions (除外されるもの)	根治的頸部郭清術 (JAN.JL.AA) (訳者注: 根治的頸部郭清術 (JAN.JL.AA) を行った場合には、喉頭全摘術のステムコード (JAN.JK.AA) を選択してはいけません)

SSJ.PQ.ZZ	家族関係と関わるための心理療法
Inclusions(含まれるもの)	包括的家族療法
Exclusions(除外されるもの)	親密な関係を築くための心理療法(SSM.PQ.ZZ)

3. ICHI で使用される規約

3.1 略語

NEC Not elsewhere classified 他に分類されない

タイトルに「not elsewhere classified(他に分類されていない)」というコードは、問題の介入を説明する、より具体的なコードが分類に存在しない場合にのみ割り当てられます。NEC の説明が追加されたコードは、分類で利用可能な他のオプションのいずれも適切でない場合にのみ使用すべきです。

例 7:

NME.JK.AA	腹式子宮全摘出術、他に分類されない
------------------	--------------------------

NOS Not otherwise specified 他に明記されない

NOS は、「not otherwise specified」の略語であり、介入を分類するために使用される文書が、その用語以外の詳細を提供しないことを意味します(「unspecified(特定されていない)」、「incompletely specified(特定が不完全である)」または「unqualified(不適當である)」を含む)

例 8:

ABA.JI.AA	脊髄病変の局所切除
Inclusions(含まれるもの)	脊髄の組織の切除、他に明記されないもの

3.2 「And」と「Or」の使用

ICHI の「and」と「or」という言葉は、一般に形式論理の意味で使用されます。「A and B」という種類のステートメントを含む用語は、そのカテゴリを使用するために A と B の両方が存在する必要があることを意味します。「A or B」の種類のステートメントを含む用語は、A または B のいずれかが存在する場合にそのカテゴリを使用できることを意味します。

ICD-11 または ICF のこれらの用語が ICHI で使用されている場合、それらの分類の論理は保持されています。

例 9:

AXA.DB.AC	経口または経腸での鎮痛剤投与
-----------	----------------

この介入は、「鎮痛剤の経口投与」または「鎮痛剤の経腸投与」のいずれか、またはその両方を意味します。(訳者注:ミーンズが「AC(経孔的)」で口からも肛門からも同じミーンズであり、ステムコード上は区別されない)

3.3 括弧

- **() Parenthesis** 括弧は、分類対象の介入に存在する要素または存在しない要素を示す補足語を囲むために使用されます。また、exclusion 用語が参照するステムコードを囲むためにも使用されます。
- **[] Square brackets** は、大文字を使用して表示される略語には角括弧が使用され、その後に完全なタイトルが続きます。たとえば、「CPB - [Cardiopulmonary bypass]」

例 10:

AS1.PQ.ZZ	精神機能の心理療法、明記されないもの
Inclusions(含まれるもの)	単純な恐怖症に対する対象の露出を用いた心理療法
Exclusions(除外されるもの)	詳細不明の精神機能のカウンセリング(AS1.PP.ZZ) (訳者注:現在 ICHI online では「Exclusions」の記載は見当たらない)

3.4 単数対複数

ICHI では、臓器、疾患、解剖学的部位は、単数形と複数形の両方を表すために単数形を使用して表現されます。たとえば、「polyp」は polyp または polyps と解釈できます。

3.5 スペル

ICHI では、英国式のスペリングが使用されています。

4. ICHI のターゲット選択

ステムコードを選択するときは、最も適切なターゲットを持ったステムコードを選択する必要があります。

4.1 医学的・外科的介入

医学的・外科的介入の場合、解剖学的部位が好ましいターゲットです。

- ターゲットが身体機能領域であり、解剖学的構造に対して行われていない場合、選択されるべきターゲットは身体機能領域でなければなりません。
- 解剖学的構造が何らかの方法で(外科的に)変更された場合、その解剖学的構造がターゲットになります。

介入が複数の解剖学的位置に関係する場合、選択されたステムコードのターゲットは、最も深い部位(身体または構造内)または頭部に最も近い位置を選択する必要があります。

「食道および十二指腸の病変の内視鏡的切除」については、最も深い場所の十二指腸が最も深い部位であるため、「KBI.JI.AD 内視鏡的十二指腸病変切除術」を選択します。

ターゲットカテゴリは粒度が異なり、そのグループ毎に階層化がしています(たとえば、HAA「左心房」、HAZ「心房、詳細不明」と HZZ「心臓全体または大血管、詳細不明」は階層が異なります)。一般に、最も詳細なターゲットカテゴリから選択したステムコードを使用する必要があります。

最も詳細なターゲットがない場合は、より広いターゲットを探す必要があります。解剖学的ターゲットを用いた介入の場合、その他の body system Target が利用できます。例えば、NZZ「Urogenital system and functions, unspecified(泌尿生殖器系および機能、明記されないもの)」(訳者注:最新では NZZ「Genitourinary system target, unspecified(詳細不明の泌尿生殖器系のターゲット)」に修正されています)、PZZ「Unspecified site(明記されない部位)」や、一般的な解剖学的な部位の PNA「Lower limb, NOS、下肢、明記されないもの」などが該当します。これらは、各解剖部位のターゲットの最後に掲載されています。これらのターゲットを持つ ICHI ステムコードは、具体的な ICHI ターゲットを選択するための文書や情報が不十分な場合、またはより具体的なターゲットを持つ適切なコードが利用できない場合に使用します。

他の介入が複数のターゲットを持ち、介入の目標を含む単一のターゲットカテゴリがない場合、介入の主なターゲットを反映する ICHI コードを選択する必要があります。

医学的・外科的介入でのターゲットの選択に関するその他の規則には、以下のものがあります。

- ・ **Control of Haemorrhage(出血のコントロール)** ターゲットは、出血している血管を有する臓器よりも、「出血の制御」に必要な臓器を指定する必要があります
- ・ **Localised pharmacotherapy(局所的な薬物療法)** ターゲットは特定の解剖学的部位でなければなりません。例えば、injection of agent into spinal canal(薬剤を脊柱管に注入)する場合、選択されるターゲットは ABG Spinal cavity(脊髄腔)です。
- ・ **Systemic pharmacotherapy(全身薬物療法(特定の解剖学的部位を対象としていない))** ターゲットは、whole body (PZA)である必要があります。
- ・ **Interventions on the fetus(胎児への介入)** ターゲットは NMR Fetal or embryonic structure, not the specific anatomical structure on the fetus(胎児または胚、解剖学的構造が特定されないもの)となります。(訳者注:最新では NZZ「Genitourinary system target, unspecified(詳細不明の泌尿生殖器系のターゲット)」に修正されています) 例えば NMR.AD.AD Biopsy of fetal structures(胎児の生検)では、必要に応じてエクステンションコードを用いることで特定の胎児の解剖学的構造を特定することができます。「anatomy and topography」のエクステンションコードを参照してください。(訳者注:9.5 Use は意味不明です。「Functional anatomy」-「Genitourinary system」-「Reproductive system」-「Embryological structures」の中にあります)

医学的・外科的介入において複数の解剖学的部位がある場合

- ・ 選択されたステムコードのターゲットは、介入の解剖学的部位または開始点(終止点ではない)を反映する必要があります。
例:「脳室腹腔シャント術」は、AAE.LI.AA Ventricular shunt(脳室シャント)になります。

瘻孔に関する介入のターゲットを選択するための優先ルール:

- 女性生殖器が関与している場合は、特定の女性生殖器になります
例: 直腸膀胱膣瘻は「vagina 膣」がターゲットになります。
- 尿路が関与している場合、ターゲットは尿路になりますが、女性生殖器が関与してる場合は除きます。
- その他の瘻孔では、ターゲットは臨床用語で最初に言及される部位になります。

4.2 身体機能、活動や参加、環境要因

ターゲット軸の身体機能、活動や参加、環境要因には、WHO の *国際生活機能分類 (ICF)* のコードに基づいています。

身体機能のターゲットは、ICF のカテゴリの Section 1 に、活動や参加は Section 2 に、環境要因は Section 3 にあります。

ICF コードに基づく ICHI ターゲットは、カテゴリが ICF 自体にあるため、階層的に構築されています。ICF 階層の最上位レベルは Chapter です。Chapter は blocks に分割され、その中に 3 桁と 4 桁のコードが構築されています。ICF 章に基づくターゲットには、ICF 階層の下位レベル、つまり block と 3 桁の ICF コードからなります。(少数の4桁の ICF コードも ICHI ターゲットとして含まれます)。

ICF Chapter レベルのターゲットコードは、2 つの文字とそれに続く数字「1」で構成されます。ICF block レベルのターゲットコードは、2つの文字とそれに続く数字「2」で構成されます。ICF 3桁または4桁のターゲットコードは3文字で構成されます。階層構造を表1に示します。

表1:ICF コードに基づく ICHI ターゲットの階層構造

コード	ICHI ターゲット	レベル	ICF マップ
AS1	Mental functions, unspecified (精神機能、詳細不明)	Chapter level	b1
AT2	Global mental functions, not elsewhere classified (全体的な精神機能、他に分類されない)	Block level	b110–b139
ATC	Awareness and alertness functions (意識と警戒の機能)	3-digit level	b110
ATD	Orientation functions (オリエンテーション機能)	3-digit level	b114
AU2	Specific mental functions, not elsewhere classified (特定の精神機能、他に分類されない)	Block level	b140–b189
AUA	Attention functions (注意機能)	3-digit level	b140
AUB	Memory functions (記憶機能)	3-digit level	b144

介入に最も適した ICHI ステムコードを使用できます。

例 11:

記憶のみに焦点を当てた評価介入の場合のコードは、AUB.AA.ZZ となります。

AUB.AA.ZZ 記憶の評価

複数のタスクを指定するコードがない場合は、より上のレベルのターゲットを使用します。

例 12:

家事と食事の準備の両方に関する実用的なサポートを示すためのコードは「SO2.RB.ZZ(家事の実行に関する実用的なサポート、他に分類されないもの)」を使用します。一方具体的なレベルが要求される場合は、「SOA.RB.ZZ(食事の準備に関する実践的サポート)」と「SOD.RB.ZZ(家事に関する実践的なサポート)」の2つの別のコードとなります。

SO2.RB.ZZ 家事の実行に関する実用的なサポート、他に分類されないもの

4.3 「健康関連行動」または「活動や参加」のターゲット

健康に影響を与える特定の要因に関連して、個人または集団レベルで behaviour(行動)を評価、促進、または修正することを目的とする介入の場合、「Health-related Behaviour(健康関連行動)」のターゲット(VA1 から VFX) (訳者注: 現在のターゲットの並び順としては(VAA から VFZ))を含むステムコードを割り当てる必要があります。(アルコール使用、衛生、性行動など)。

介入が特定の生活状況における特定の活動または関与の個人のパフォーマンスを評価、改善、または維持することを目的としている場合、「Activities and Participation Domains(活動や参加)」のターゲット(SA1 から SXL)を含むステムコードを割り当てる必要があります。

例 13:

1. 健康的な食品の選択と適切な分量についての教育を含む介入は、次のようになります。
VEA.PM.ZZ 食生活に影響を与える教育
2. 食事の活動に関する教育を含む介入(例えば、脳卒中後のリハビリテーションにおいて)は、次のようになります。
SMF.PM.ZZ 食事に関する教育

人の身体機能またはその活動または参加を支援するための製品または技術に関する介入については、UAD から UAJ のターゲット「assistive products and technologies(支援製品および技術)」を使用する必要があります。行動の変化を促進するために提供される製品または技術に関する介入については、関連する健康関連の行動のターゲット(VA1 から VFX)を使用する必要があります。(適切なエクステンションコードを使用して、特定の支援製品または治療製品を説明することができます)。

例 14、15:

- 個人に対して入浴用の補助器具を提供する介入は、次のようになります。
UAD.RD.ZZ (訳者注: 現在の ICHI online では「Providing goods for personal use in daily living(日常生活における個人使用のための物品の提供)」となっている)
- 生徒と教師の間で個人の衛生習慣を奨励するために学校に抗菌手指洗剤を提供することを含む介入は、次のようになります。
VED.RD.ZZ 衛生行動の改善をサポートするための商品の提供

4.4 公衆衛生への介入: 最終目標および即時目標

環境要因または健康関連の行動を対象とする公衆衛生介入の場合、環境要因または健康関連の行動は、介入の最終的な目標と見なされる場合があります。

多くの場合、介入のアクションは、間近である**当面の(immediate)**ターゲットに直接向けられ、**最終的(ultimate)**ターゲットに影響を与えることになります。

例えば、意識向上のための介入は、たばこの使用行動に影響を与える(ultimate target 最終目標)ために、コミュニティの態度を変えようとする(immediate target 当面の目標)かもしれません。このような場合、ICHI コードを選択する際には、最終的なターゲットを主なターゲットと見なす必要があります。必要に応じて、直近のターゲット(immediate target)を別のターゲットとしてエクステンションコードを使用することで示すことができます。(訳者注:ターゲット(immediate target)をエクステンションコードと同様に「&」で連結すること??)

例 16:

「屋外の空気の質を改善するために廃棄物の燃焼を停止する」には次のコードを使用; UBM.VR.QE&UEV Where: ステムコード - UBM.VR.QE 屋外の空気の質を改善するための法律または基準の施行による排出量の削減 ターゲット(immediate target) - UEV 廃棄物収集および処理サービス、制度および政策

例 17:

「石炭とコークスの使用に関する室内空気の質に関する経済的インセンティブ」を示すために、ターゲットのエクステンションコードを使用します。 UBL.WG.QF&UGD Where: ステムコード - UBL.WG.QF (訳者注:現在 ICHI online では「Economic incentives concerning indoor air quality(室内の空気の質に関する経済的インセンティブ)」と変更されている) ターゲット(immediate target) - UGD 石炭とコークス

5. どのアクションを選択するか

ステムコードを選択するときは、最も適切なアクションを選択します。特定のアクションカテゴリの適用性を検討する場合、ユーザーはそのアクションの定義を読む必要があります。Index terms(索引用語)は、対象となるアクションを示すことでカテゴリの範囲を明確にするのに役立ちます。Index terms(索引用語)のリストはすべてを網羅しているわけではないことに注意してください。

例 18、19:

アクション Title(タイトル) Definition(定義) (Description(説明文)) Inclusions(含まれるもの)	FC 解放 圧迫されている、または機能していない体の部分を、取り出すことなく解放する (訳者注:現在 ICHI online では「Carpal tunnel release(手根管開放術)、Decompression laminectomy(椎弓切除除圧術)、Interrupting or splitting of tissue for release(解放のための組織の分割)、Lysis of adhesions(癒着剥離術)」と変更されている。
アクション Title(タイトル)	SI 準備

アクション	SI
Definition (定義) (Description (説明文))	今後または将来の介入の準備
Inclusions (含まれるもの)	モデリング (立体構築) リハーサル シミュレーション
Exclusions (除外されるもの)	計画、立案 (TB)

5.1 複数のアクション

介入に複数のアクションが含まれる場合、主となるアクション (Main action) またはドキュメントに最初に記載されているアクションを選択する必要があります。

医学的・外科的介入が、同じ臨床手技内で複数の要素、アクションを含む場合 (および介入を別々に実行する際にも)、複数の ICHI ステムコードを使用して、実行中の介入として記述します。。

例 20:

「冠動脈造影と血管内圧測定」の場合、介入のステムコードは以下になります。

- HIA.BA.BB 冠動脈造影
- HIA.AB.AF 冠動脈の血管内圧測定

より包括的なアクションの一部として行われるアクションは、個別にコード化すべきではありません。

例 21:

- 「excision/resection with a reconstruction (再建を伴う切除術/摘出術)」の場合、アクションは、ML「Reconstruction (再建)」を選択します。再建という手技において、「切除術/摘出術」は必要なものであるからです。
- 「incision and drainage (切開とドレナージ)」の場合、アクションは、JB「Drainage (ドレナージ)」を選択します。ドレナージをするためには、切開が必要だからです。

6. どのミーンズを選択するか

ステムコードを選択するときには、ミーンズは「アクションが実行されるプロセスと方法」を識別します。ミーンズの軸には、以下のミーンズのカテゴリのグループが含まれます。

- Approach 到達方法
- Technique 技術
- Method 方法
- Sample 資料
- Unspecified 分類不能、その他

特定のミーンズカテゴリの適用可能性を考慮する場合、そのミーンズの定義を読む必要があります。Index terms(索引用語)は、対象となるのミーンズの例を示すことにより、カテゴリの範囲を明確にするのに役立ちます。Index terms(索引用語)のリストはすべてを網羅しているわけではないことに注意が必要です。

例 22-23:

ミーンズ	AA
Title(タイトル)	オープンアプローチ
Definition(定義) Description(説明文)	皮膚や粘膜と、その他の下にある組織を切開して、介入を行う部位を露出させる。
Inclusions(含まれるもの)	経乳突アプローチ
Exclusions(除外されるもの)	経孔的に切開 Cutting per orifice (AC)

ミーンズ	BD
Title(タイトル)	造影 CT
Definition(定義) Description(説明文)	画像処理され、断面で表示される線形または多方向スキャンで、造影剤使用。
Exclusions(除外されるもの)	CT、特に明記されていないもの (BC) (訳者注: 造影剤を使用しない CT、単純 CT)

6.1 ミーンズにおける「アプローチ」のカテゴリの選択

ミーンズの「Approach(アプローチ)」のカテゴリは、医学的・外科的介入にのみ使用されます。

オープンアプローチ(AA)は「デフォルトの外科的アプローチです。つまり、ステムコードのタイトルでアプローチのタイプが指定されていない場合は「open approach(オープンアプローチ)」を示します。

医学的・外科的介入の場合、特に指定がない限り、AA オープンアプローチとする。

7. 残りのカテゴリ — 「その他」および「詳細不明」

ICHI コーディングは常に、1つまたは複数のステムコードを使用して可能な限り詳細なレベルを含めるようにする必要があります。ただし、それが不可能な場合もあるため、ICHI には「other(その他)」および「unspecified(詳細不明)」というタイトルのステムコードが含まれています。

場合によっては、特定のステムコードを選択するために必要な情報が元のドキュメントにない場合があります。この場合「unspecified 詳細不明」のステムコードが選択されます。逆に元のドキュメントの情報が非常に詳細であるため、ICHI に特定のステムコードがない場合もあります。この場合にはユーザーは「other(その他)」というカテゴリでコーディングします。

したがって、必要なターゲットとアクションの組み合わせを持つステムコードが利用できない場合は、適切なターゲットに、ZY「Other action, not elsewhere classified (他のアクション、他に分類されない)」というアクションを選択します。例えば、KAE.ZY.AC「歯に対するその他の介入、他に分類されない」。(訳者注:現在 ICHI online ではこのステムコードは削除されている)

実行されたアクションに関する情報が不十分な場合、適切なターゲットと ZZ「Unspecified action (詳細不明)」のアクションを選択する必要があります。例えば、JZZ.ZZ.ZZ (訳者注:現在 ICHI online では「Interventions on the respiratory system, voice and speech, unspecified (呼吸器系と声と発話への介入、詳細不明)」となっている)

8. コーディングしてはいけないこととコードの割り当て順

8.1 介入の構成要素

通常、実行されるより重要な介入のルーチンまたは固有の部分と見なされる構成要素については、医学的・外科的介入コードを選択しないでください。

次のような場合、手術アプローチである介入をコーディングしないでください:

例 24:

胆嚢摘出術のために行われた開腹術は、開腹術のコーディングせずに胆嚢摘出術 (KCF.JK.AA) だけのステムコードになります。

8.2 コードの順序

以下のコード順になります

1. 主な目的を取り扱うための介入 (健康状態、身体機能障害、活動制限または参加制限、環境要因または健康行動)
2. 追加の目的を取り扱うための介入
3. 主な目的を決定するための介入
4. 追加の目的を決定するための介入
5. 「Code also」の指示に従って記録される追加コード

9. エクステンションコード (必要時使用)

介入に関する追加情報は、エクステンションコードを付記することによって、ステムコードの詳細と粒度を拡張できます。エクステンションコードは単独では使用せず、ステムコードに追加して使用します。

エクステンションコードには、次の種類があります。

- Quantifiers (数)
 - 介入が行われる解剖学的構造の数
 - 実施された介入の数
 - 挿入された治療用製品の数

- Additional descriptive information for interventions (訳者注: 最新では「Additional descriptive information (付加的な記述、情報)」に修正されています)
 - 開始/維持/中止/再開
 - 他の介入との関係
 - 標準化または構造 (訳者注: 最新では「Nature of the intervention (介入の質)」に修正されています)
 - 機器の使用またはチャレンジ
 - レシピエント
 - 新しい治療法
 - 特定のスキルとテクニック
 - 組織皮片
 - 組織移植片
- Topology (形態学) (訳者注: 最新では「Topology Scale Value (部位スケール値)」に修正されています)
 - Measurement (測定) (訳者注: 最新では「Measurement」以外に以下の4つが追加)
 - Relational (部位)、Distribution (分布、配分)、Laterality (側性)、Regional (局所)
- Telehealth (遠隔医療)
 - 遠隔地からのアドバイスや支援を受けて行われる介入
 - 遠隔地から、受け取る側に提供する介入
 - 人間が直接関与することなく、テクノロジーを介して提供される介入
- Essential pathology tests (訳者注: 最新では「Essential laboratory tests (必須の臨床検査)」)
- Assistive products (支援製品)
- Therapeutic products (治療用製品)
- Anatomy and topography (訳者注: 最新では「Anatomy and topography (解剖と部位)」が追加されている)

さらに以下の ICD-11 エクステンションコードを ICHI エクステンションコードとして使用できます。
(訳者注: 現在 ICHI online に、以下のいくつかの ICHI エクステンションコードは既に掲載されています)

- Topology Scale Value (部位スケール値) - Relational (部位)
- Topology Scale Value (部位スケール値) - Laterality (側性)
- Anatomy and topography (解剖と形態)
- Substances (物質) - Medicaments Relational (医薬品)
- Substances (物質) - Non-medical (非医療用)

特定のエクステンションコードは、適用可能な任意のステムコードと共に使用できます。

ステムコードが最初に記載され、その後ろにアンパサンド「&」に続き、エクステンションコードを記載します。
複数のエクステンションコードは「&」で続けて記載します。

統合コード: ステムコード&エクステンションコード&エクステンションコード

例 25:

「緊急膝関節半月板形成術」には次のコードを使用:

MMD.ML.AA&XB03.0&XK9K (最新では **MMD.ML.AA&XG87Y4&XK9K** になります)

Where:

ステムコード - MMD.ML.AA 膝半月板形成術

追加するエクステンションコード - XB03.0 緊急手術 (訳者注: 現在の ICHI online では「XG87Y4 (Unplanned)」になります)

形態(側性)のエクステンションコード - XK9K 右

特定のエクステンションコードの使用に関する詳細情報を以下に示します。

9.1 数

これらのエクステンションコードは、次の数を識別するために割り当てられています：

- 介入が行われる解剖学的構造の数
- 1回のエピソードで実施された同じ介入の数
- 介入中に挿入または移植された治療用製品の数

9.2 付加的な記述、情報

「付加的な記述、情報」は、利用可能なエクステンションコードを使用してステムコードに追加できます。

このセクションで特定のエクステンションコードを適用するための具体的なガイドラインを後ほど示します。

9.3 「テレヘルス」エクステンションコード

XH01 (訳者注：現在 ICHI online では「XG6UP2」のエクステンションコードが振られています)

- 離れた場所(遠隔地)からのアドバイスや支援を受けて行われる介入(受入れ側)
含まれるもの：遠隔地からアドバイスを受けての介入：離れた場所からのロボット支援機器を介して行われた介入

XH02 (訳者注：現在 ICHI online では「XG9S10」のエクステンションコードが振られています)

- 遠隔地から、受入れ側に提供する介入(提供側)
含まれるもの：遠隔地の人に直接提供する介入(例：電話カウンセリング)；ロボット支援機器による介入；地元の医療提供者に助言または支援して実行してもらう介入

XH03 (訳者注：現在 ICHI online では「XG5081」のエクステンションコードが振られています)

- 人間が直接関与することなく、テクノロジーを介して提供される介入
含まれるもの：非同期の eHealth と mHealth の介入、および Web サイトやヘルスケアのアプリを介して配信される介入。

エクステンションコード XH01 (現在「XG6UP2」)は、遠隔医療提供者がいる場所ではなく、介入を受ける個人がいる医療施設で記録されるコード。

エクステンションコード XH02 (現在「XG9S10」)は、介入を受ける個人がいる医療施設ではなく、遠隔医療提供者がいる場所で記録されるコード。

遠隔医療提供者からの介入を受ける個人がいる医療施設では、そこに提供を受けた介入を行うものがある場合には、介入は両方の医療施設で記録される場合があります(例：2つの異なる病院)。(訳者注：統計をとる際に、1つの介入がダブルでカウントされたものを区別できるように、このエクステンションコードを設けています)

表 2: テレヘルス エクステンションコードの使用例:

血栓溶解療法を行っている遠方の医師に アドバイスする専門医 電話による禁煙相談の実施 病院 A の医師は、一連の精神機能検査を 指導し、その結果を病院 B の神経内科医 に送信。病院 B の神経内科医は、その検 査結果を使用して神経学的評価を行う。	受入れ側のコード IAA.DB.AF&XH01 現在は IAA.DB.AF&XG6UP2 AS1.AC.ZZ	提供側がコード IAA.DB.AF&XH02 現在は IAA.DB.AF&XG9S10 VAB.PP.ZZ&XH02 現在は VAB.PP.ZZ&XG9S10 AZZ.AA.AH&XH02 現在は AZZ.AA.AH&XG9S10
---	---	---

エクステンションコード XH03(**現在は XG5081**)を用いることで、公衆衛生のための集団レベルの介入、または個人に提供される介入に最も適したステムコードとなります:

例 26 – 27:

- 禁煙に関する個別のアドバイスを提供する双方向性なウェブサイト:
VAB.PN.ZZ&XH03(**現在は VAB.PN.ZZ&XG5081**) – 人の提供者が直接関与することなく、テクノロジーを介して提供される、喫煙行動に関するアドバイス
- 記憶機能を支援するアプリの個別使用:
AUB.RB.ZZ&XH03(**現在は AUB.RB.ZZ&XG5081**) – 人の提供者が直接関与することなく、テクノロジーを介して提供される、記憶に関する実践的なサポート

9.4 診断のための検査(訳者注:最新では「Essential laboratory tests(必須の臨床検査)」)

「Essential pathology tests(診断のための検査)」(最新では「Essential laboratory tests(必須の臨床検査)」)のエクステンションコードのリストには、WHO による Model List of Essential In-Vitro Diagnostics 2019 の臨床検査(訳者注: **pathology test** でなく **laboratory tests** と変わったので)が含まれています。このエクステンションコードは、検体に対して実行された臨床検査を記録するために使用できます。

例 28:

ヘモグロビン値の診断検査のための血液採取:
DIA.AH.XA&XJ33(現在は「DIA.AH.XA&XG52S7」)

Where:

ステムコード – DIA.AH.XA 血液の検体採取

診断のための検査のエクステンションコード – XJ33 ヘモグロビン(Hb)(**現在は「XG52S7」**)

ユーザーがアクセス権を持っている場合は、LOINC をこの拡張コードの代わりに使用できます。(Section 10: Use of Other Code Lists 参照)。(訳者注: 25 ページの「10. Using Other Code Lists(その他のコードリストの使用)」に書かれています)

9.5 特定の「解剖と部位」エクステンションコードの使用

「解剖と部位」エクステンションコードを使用することで、既存のステムコードをさらに詳細な解剖学的部位を提供できます。

例 29 – 31:

さらに詳細な解剖学的部位を記録するには、「解剖と部位」のエクステンションコードを使用します:

複数の解剖学的 Target がある介入:
「脳室腹腔シャント」には次のコードを使用:
AAE.LI.AA&XA0KZ0

Where:

ステムコード - AAE.LI.AA 脳室シャント

解剖と部位のエクステンションコード - XA0KZ0 (訳者注: ICHI online のエクステンションコードの **Anatomy and topography - Functional anatomy - Digestive system** の中に「XA0KZ0 Peritoneum」が抜けている (ICD-11 for Mortality and Morbidity Statistics にはあり、今回はこれを用いることとした)

「胸部大動脈から冠動脈への冠動脈バイパス術 (CABG)」には次のコードを使用:

HIA.LI.AA&XA8K52&XA3B03 (現在は「**HIA.LI.AA&XA9UT1&XA3B03**」)

Where:

ステムコード - HIA.LI.AA 冠動脈バイパス術

解剖と部位のエクステンションコード - XA8K52 (現在は「**XA9UT1 Artery of thorax 胸部大動脈**」) & XA3B03 冠動脈

「手の掌側手根間靭帯の再建」には次のコードを使用:

MGL.ML.AA&XA47N4

Where:

ステムコード - MGL.ML.AA 手または指の靭帯または筋膜の再建

解剖と部位のエクステンションコード - XA47N4 掌側手根間靭帯

「解剖と部位」のエクステンションコードは、ICHI と ICD-11 においては同じである。

9.6「医薬品および材料」エクステンションコードの使用

(訳者注: ICHI online のエクステンションコードには、ICD-11 にある「**Substances – Medicaments, Substances, chiefly nonmedicinal, Allergens**」の項目が 2025/03/13 現在ない。近日中に掲載されると思われるが、今回は ICD-11 のコードを用いる)

介入に医薬品または材料の使用が含まれる場合、医薬品または材料のエクステンションコードを使用して記述できます。

例 32 – 33:

オキシトシンによる陣痛誘発
NME.SH.AE&XM9SN0

Where:

ステムコード - NME.SH.AE 静脈内投与による陣痛誘発

医薬品のエクステンションコード - XM9SN0 オキシトシン

玩具、宝飾品、プラスチックなどの製品におけるカドミウムの使用廃止を支援
UAA.TA.AE&XMOV73

Where:

ステムコード - UAA.TA.AE (現在は「**Advocacy in relation to products or substances for personal consumption 個人消費者向けの製品または物に対する推奨**」)

医薬品のエクステンションコード - XMOV73 カドミウム

「医薬品および材料」のエクステンションコードは、ICHI と ICD-11 においては同じである。

9.7「支援製品」エクステンションコードの使用

介入に支援製品の使用が含まれる場合、「支援製品」のエクステンションコードを使用します。

例 34:

「デジタル補聴器の提供」には次のコードを使用:

UAF.RD.ZZ&XP305.01

Where:

ステムコード

- UAF.RD.ZZ (現在は「Providing goods for communication (コミュニケーションのための製品の提供)」支援製品のエクステンションコード - XP305.01 補聴器(デジタル)と電池(訳者注:現在 ICHI online のエクステンションコードに Assistive products - Assistive products and technology for communication (e1251) - Hearing aids (digital) and batteries に掲載されているが、まだコードが付記されていない。ICD-11 のエクステンションコードでも検索できなかったので書かれている XP305.01 を用いる)

「医薬品および物質」のエクステンションコードは、ICHI と ICD-11 においては同じである。「支援製品」のエクステンションコードは、WHO Priority Assistive Products List (APL)の内容をカバーしています。ユーザーはアクセス可能であれば、ISO 9999 をエクステンションコードの代替として使用できます。(訳者注: WHO Priority Assistive Products List (APL) は以下に掲載)
https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/207694/WHO_EMP_PHI_2016.01_eng.pdf

9.8「治療用製品」エクステンションコードの使用

介入に治療製品の使用が含まれる場合、「治療製品」のエクステンションコードを使用します。

例 35:

「骨固定伝導補聴器の挿入」には次のコードを使用:

CBA.DN.AC&XT03.02

Where:

ステムコード - CBA.DN.AC 中耳への内部装置の埋め込み, 他に分類されないもの

治療製品のエクステンションコード - XT03.02 骨固定システム(訳者注:現在 ICHI online のエクステンションコードに Therapeutic products – Ear - Bone anchored hearing system に掲載されているが、まだコードが付記されていない。ICD-11 のエクステンションコードでも検索できなかったので書かれている XT03.02 を用いる)

9.9 エクステンションコードの組み合わせ

論理的に結合されたエクステンションコードは、丸括弧()を使用してグループ化する必要があります。この丸括弧()を複数使用することによって、エクステンションコードを「グループ」化できます。

例 36:

「冠動脈バイパス術 左前下行枝の対角枝、右回旋枝」には次のコードを使用

HIA.LI.AA&(XX8G&XA2DD2)&(XX9K&XA4YJ3) (訳者注:「冠動脈バイパス術 左前下行枝の対角枝、左回旋枝」なら **IA.LI.AA&(XX8G&XA2N78)&(XX8G&XA9FX9)**が正しい)

Where:

ステムコード - HIA.LI.AA 冠動脈バイパス術

部位のエクステンションコード - XK8G 左(訳者注:前下行枝の対角枝は左しかないのでは?)

解剖のエクステンションコード - XA2N78 対角枝(訳者注:Diagonal branches of left anterior descending coronary artery とあり 前下行枝の対角枝が正しい)

and

部位のエクステンションコード - XK9K 右 (訳者注:回旋枝は右にはないのでは? XK8G 左とする)
解剖のエクステンションコード - XA9FX9 (訳者注:XA9FX9 Left circumflex artery 左回旋枝とあり、こちらが正しい。回旋枝は左しかないのでは XK8G 左は不要では?)(訳者注:右だとすると「XA8PS0 Posterolateral artery」が right circumflex coronary artery であるのか?)

10. その他のコードリストの使用

ICHI と一緒に他のコードリストを使用することもできます。これらは次の通りです。

- ・ ICF コード。ICF の身体機能、活動や参加、および環境要因は ICHI のターゲットとして使用されます。ほとんどは ICF の 3 桁レベルにあります。もっと特異性が必要な場合は、ICF の 4 桁または 5 桁のコードを使用します。
- ・ 詳細を提供するための国際コード体系 (LOINC、ISO 9999 など)
- ・ 介入に関するその他の情報を指定するコードリスト。産業を説明する国際標準産業分類 (ISIC)コードや、製品やサービスを説明する中央製品分類 (CPC)など。

他のコードリストのコードは、ハッシュ (#) 記号で ICHI コードと区切る必要があります。使用される分類は、その分類のコードの前に名前を付ける必要があります。

例 37 - 39:

「生活区域の清掃の評価」には次のコードを使用:

SOD.PH.ZZ#ICF d6402

Where:

ステムコード - SOD.PH.ZZ 家事の評価

ICF - d6402 生活区域の清掃

「道路建設時の粉塵を減らし、大気質を改善する」には次のコードを使用:

UBM.VR.QE#ISIC Group 421

Where:

ステムコード - UBM.VR.ZZ 排出量を削減して屋外の空気の質を改善する

ISIC Group 421 道路・鉄道の建設

(訳者注: ISIC は、https://unstats.un.org/unsd/publication/seriesm/seriesm_4rev4e.pdf に記載)

「マラリア対策のための殺虫剤散布の制限」には次のコードを使用:

UBQ.WF.ZZ#CPC Sub-class 34661

Where:

ステムコード - UBQ.WF.ZZ 病気の媒介動物に関連する製品またはサービスの消費または使用の制限

CPC Sub-class 34661 殺虫剤

11. 同時に行われる介入

介入が同時に実行される場合、各介入の ICHI コードはスラッシュ「/」で区切る必要があります。各介入は、必要に応じて関連するステムコードとエクステンションコードを使用する必要があります。

同時に行われるいくつかの医学的・外科的介入、一般的に単一の用語で表されます。

例 40 - 43:

「胃瘻造設術を伴う食道部分切除術」では ‘code also’ の指示に従って次のコードを使用:

KBA.JJ.AA/KBF.LI.AA

Where:

ステムコード - KBA.JJ.AA 食道部分切除術

ステムコード - KBF.LI.AA 胃バイパス術

「飲食のトレーニング」には次のコードを使用:

SMF.PH.ZZ/SMG.PH.ZZ

Where:

ステムコード - SMF.PH.ZZ 摂食のトレーニング

ステムコード - SMG.PH.ZZ 飲水のトレーニング

「左下腿動脈の経皮経管血管形成術および、2つのステントの挿入を伴う右下腿動脈の経皮経管血管形成術」には次のコードを使用:

IFA.LG.AF&XCA3/IFA.LH.AF&XCA4&XAC2&XT01.24

(訳者注: 上記は間違えでは?: **IFA.LG.AF&XK8G/IFA.LH.AF&XK9K&XG2L64&XE7UE**)

Where:

ステムコード - IFA.LG.AF 下腿動脈の経皮経管血管形成術

部位のエクステンションコード - XK8G 左

ステムコード - IFA.LH.AF 下肢動脈へのデバイス挿入による経皮経管血管拡張術

部位のエクステンションコード - XK9K 右

挿入された治療用製品の数のエクステンションコード - XG2L64 Two therapeutic products inserted (2つの挿入された治療用製品)

治療用製品のエクステンションコード - XT01.24 血管内ステント(訳者注: 現在 ICHI online のエクステンションコードに Therapeutic products – Cardiovascular の中に「Drug eluting endovascular stent」と「Non-drug eluting endovascular stent」が掲載されているが、まだコードが付記されていない。ICD-11 のエクステンションコードには「XE7UE Stent component of medical device (医療機器のステント部品)」があり、今回 XE7UE を用いる)

「手と指の関節の可動性と手の筋肉の運動のための支援と指導の技術」には次のコードを使用:

MTB.PG.ZZ&XB11.5&XXMGJ/MUB.PG.ZZ&XB11.3&XXMGM

(最新では「**MTB.PG.ZZ&XB11.5&XA62V5/MUB.PG.ZZ&XG6DJ0&XA62V5**」)

Where:

ステムコード - MTB.PG.ZZ 関節機能の可動性のための運動の補助と指導

付加的な記述、情報のエクステンションコード - XB11.5 運動の技術(最新では「**XG7QD2 Movement techniques**」)

解剖のエクステンションコード - XA62V5 手の関節

ステムコード - MUB.PG.ZZ 筋力機能の補助と指導

付加的な記述、情報のエクステンションコード - XB11.3 (最新では「**XG6DJ0**(筋緊張の技術(高負荷と低反復の筋肉収縮を伴うテクニック; ICHI online の description より引用))

解剖のエクステンションコード - XA5R12 手(訳者注: 上記と同様に「**XA62V5** 手の関節」とします)

公衆衛生を対象とする介入については、単一の ICHI ステムコードを使用して適切に把握できない介入の内容を完全に伝えるために、必要に応じて上記の規則を使用することができます。

例 44:

例えば「アルコールと違法薬物使用に関する教育講演」には次のコードを使用:

VAA.PM.ZZ/VAC.PM.ZZ

Where:

ステムコード - VAA.PM.ZZ アルコール使用に関する教育

ステムコード - VAC.PM.ZZ 違法薬物使用に関する教育

2つ以上の独立した介入が、同日でおこなわれても異なる日に行われても、一緒に実施された介入として報告されるべきではありません。

12. 介入のパッケージ

状況によっては、複数の介入がパッケージとして組み合わされることがあります。リハビリテーションプログラムは、一定期間にわたってさまざまな提供者や専門分野から提供される介入の選択を含むように個人向けに構築される場合があります。メンタルヘルス治療プログラムも同様に成り立っています。パッケージ内の介入は記録される必要があります。

(訳者注: 同時に行われる介入では「/」で連結し、介入のパッケージは「+」で連結することだが、その使い分けがわかりにくい)

公衆衛生プログラムには通常、さまざまな構成要素介入が含まれており、それぞれは ICHI でコード化できます。

介入のパッケージは、介入の間に「+」を使用して報告されます。各介入は、エクステンションコードの有無にかかわらず、ステムコードによって表されます。

例 45 - 47:

例えば「手の外傷のリハビリテーションプログラム」には次のコードを使用:

MTB.PG.ZZ&XB11.5&XXMGJ+MUB.PG.ZZ&XB11.3&XXMGM+SIA.PN.ZZ&XB11.9+SIG.PH.ZZ

(訳者注: 上記は間違いで、おそらく以下で

MTB.PG.ZZ&XA5R12&XA2593+MUB.PG.ZZ&XA5R12+SIA.PN.ZZ+SIG.PH.ZZ)

Where:

ステムコード - MTB.PG.ZZ 関節機能の可動性を高める運動の補助と指導,

&

解剖のエクステンションコード - XA5R12 手(訳者注: ICD-11 では Anatomy and topography - Surface topography - XA6AS2 Extremities - XA4BA8 Upper extremity の中に「XA5R12 Hand」があるが、ICHI online では Surface topography の項目がまだなく検索できない),

&

XA2593 手指と母指(訳者注: ICD-11 ではあるが、ICHI online では検索できない。「XA2593 手指と母指」は「XA5R12 手」の中の含まれており、両方のエクステンションコードを記載するのは正しいのか?)

+

ステムコード - MUB.PG.ZZ 筋力機能の補助と運動指導,

&

解剖のエクステンションコード - XA5R12 手

+(訳者注: 本文は「&」だが、複数のステムコードの連結の「&」は間違いでは? 「+」が正しいと思う)

ステムコード - SIA.PN.ZZ(最新では Advising about lifting and carrying(持ち上げたり運んだりすることについてのアドバイス)に)

+(訳者注: 本文は「&」だが、「+」が正しいと思う)

ステムコード - SIG.PH.ZZ 細かい手の使い方の訓練

「生徒の日焼け防止を改善するための学校での健康増進の第 1 歩として、(i)校庭に日よけの建造物の設置する、(ii)生徒に帽子を提供する、(iii)保護者向けの教育の会議を実施する、ということが含まれており」、以下のコードを使用:

VEG.TM.ZZ+VEG.RD.ZZ+VEG.PM.ZZ

Where:

ステムコード - VEG.TM.ZZ 紫外線曝露行動に影響を与える環境改善, +

ステムコード - VEG.RD.ZZ 紫外線曝露行動の改善を支援する商品の提供, +

ステムコード - VEG.PM.ZZ 紫外線曝露行動に影響を与える教育

(訳者注: VEG.TM.ZZ は、UV と略さずに Environment modification to influence ultraviolet radiation exposure behaviour と書かれている)

「農業における廃水、排泄物、家庭雑排水の使用に関連する健康リスクと健康保護対策について、地域社会やその他の利害関係者に伝え、教育する」には次のコードを使用:

UBN.VB.ZZ&(UEV&XXUGR)+UBN.PM.ZZ&(UEV&UGR)

(訳者注: XXUGR は誤り? **UBN.VB.ZZ&(UEU&UGR)+UBN.PM.ZZ&(UEV&UGR)** が正しい?)

Where:

ステムコード - UBN.VB.ZZ 水質に関する意識啓発,

&

ターゲット - UEV 下水道サービス、システム、および政策 (訳者注: 説明文が正しいなら UEV でなく UEU),

&

ターゲット - UGR 農業,

+

ステムコード - UBN.PM.ZZ 水質に関する教育,

&

ターゲット - UEV 廃棄物収集と処理サービス、システムおよび政策,

&

ターゲット - UGR 農業

パッケージは、治療または支援を受けている人の状況、および国または地方のシステム構造または能力によって異なります。したがって、ICHI は介入のパッケージを分類しようとしているわけではありません。記録が介入のパッケージが提供されたことのみを示している場合、提供された介入を決定するためにより詳しい情報が必要です

13. ICHI と ICD および/または ICF との同時使用

WHO ファミリー国際分類(WHO-FIC)の参照分類として、ICHI は ICD および ICF と連携し、それらと共に使用されるように設計されています。ICF カテゴリの身体機能、活動や参加および環境要因は、ICHI のターゲットとして使用されます(セクション 4.2 を参照)。

3 つの WHO-FIC 分類を連携して適用すると、次のようになります。

- ICHI は、調査介入を説明するために使用できます。
- ICD-11 は、人の健康状態を記録するために使用できます。
- ICF は、その人の生活機能を説明するために使用できます (身体機能、身体構造、活動や参加および環境要因)。
- ICHI は、予防、治療、支援介入を説明するために使用できます。

例 48:

ICD と ICHI の同時記載

「患者は持続する腹痛精査のため、生検を伴う大腸内視鏡検査目的にて入院、その結果、大腸のクローン病と診断され、後日 右半結腸切除術が行われた」

ICHI KBP.AD.AD 内視鏡下結腸生検

ICD-11 DD70.3 大腸クローン病(Crohn disease of large intestine)

ICHI KBP.JJ.AA&XA3AL5 結腸部分切除術&上行結腸

(訳者注:hemicolectomy of ascending colon(結腸右半結腸切除術)の、ステムコードは「KBP.JJ.AA&XA25P9(Partial excision of colon)」である。(Inclusions(含まれるもの)に「Right hemicolectomy」とあるため。その際のエクステンションコードは Anatomy and topography - Functional anatomy - Digestive system - XA1B13 Large intestine - XA03U9 Colon の中に、「XA3AL5 Ascending colon」と「XA95L3 Hepatic flexure of colon」があり、結腸右半切除術ならばエクステンションコードとして「XA3AL5 Ascending colon」と「XA95L3 Hepatic flexure of colon 結腸肝弯曲部」の2つを記載してもいいのかもしれない。その際の ICHI は「KBP.JJ.AA&(XA3AL5&XA95L3)」となる)

14. 付録 A: ICHI 開発の歴史

当初から、WHO 国際分類ファミリー(WHO-FIC)には3つの中心分類が含まれることが意図されていました。それは、疾病及び関連保健問題の国際統計分類(ICD)、国際生活機能分類(ICF)および保健・医療関連行為に関する国際分類(ICH)です。この最後の分類は、WHO-FIC の長い間、空白でした。

国際プライマリケア分類(ICPM)¹⁾ は、1978 年に WHO によって発行されました。これには、診断、医学的・外科的介入が含まれていましたが、メンテナンスされていませんでした。

欧州連合によって設立されたホスピタル データ プロジェクト(HDP)は、2000 年代初頭を通じて機能し、国際的な報告のために 36 の病院での介入を特定しました²⁾。WHO-FIC ネットワークに段階的に報告され、すでに使用されている多くのそれぞれの国にある健康介入の分類に注意を促しましたが、それぞれの国の分類と比較することは困難でした。

(訳者注: 以下に掲載)

https://ec.europa.eu/health/ph_projects/2004/action1/docs/action1_2004_frep_32_en.pdf

2006 年の会議で、WHO-FIC ネットワークは、Family Development Committee(FDC)を通じて、国際分類の作業を開始することを決定しました³⁾。

初期の開発に関する議論では、ICD と ICF が共同で代表する健康の幅広い概念に沿って、統計分類としての ICHI が健康システムのすべての構成要素を包含することが決定されました。ICH には、医療提供者の職業、介入の設定は含まれません。

最初に決めた目的には、ICH 进行分类がない国による国内分類として、また国際比較の基礎として使用することが含まれていました。

コンテンツの開発は 2011 年に開始され、2012 年後半に最初のバージョンが利用可能になり、その後毎年更新されました。

ICHI 開発は、広範な国際的な専門家チームによって行われ、その後、国レベル、世界レベルでさまざまなテスト、フィールドテストが行われました。

当初の計画では、既存の国内分類の粒度レベルに合わせようとはしていませんでした。ユーザーが必要に応じて詳細を追加できるよう、エクステンションコードを ICHI に追加し、コンテンツの開発と改良が続けられました。エクステンションコードは ICD-11 の開発と同時に行われ、重複や矛盾を避けるように注意が払われました。

ICHI の最初の電子プラットフォームは、2016 年にイタリアのウーディネ大学によって開発されました。これにより、ICHI 開発のプロセスが透明になり、開発プラットフォームとして機能しました。

(訳者注: 現在も ICHI Platform は以下で確認できます。 <https://mitel.dimi.uniud.it/ichi/>)

2020 年に、ICHI は WHO 国際分類のプラットフォームに組み込まれました。ここには3つの WHO 中心分類がすべて含まれています。このプラットフォームは、分類の統計的使用を損なうことなく、ユーザー ガイダンスと科学的更新の改善を可能にする更新メカニズムを提供します。